

持続可能な木質資源活用の追求

大建工業は、木材を貴重な資源として有効活用し、社会に貢献することを目指し創業しました。創業以来、木材の弱点を克服し良さを引き出す技術や、木材を余すことなく使い尽くす技術を磨き、さまざまな機能を付与した素材、建材を開発してきました。木はその成長過程でCO₂を吸収、炭素として固定し、また、マテリアルとして利用し続けることで炭素を貯蔵し続ける働きがあります。CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出により、気候変動対策がグローバルな喫緊の課題となる中、CO₂を吸収する機能を持つ森林を守り育て、活かしていくことの重要性がますます高まっています。木材は再生可能な資源であることから、森林を適切に管理し、利用し続けるサイクルをつくりあげることにより、持続可能な社会の実現やカーボンニュートラルに貢献することができます。①適切に管理された木材の活用、②森林を守るための木材の活用、③余すことのない木材の活用、の3つの視点で持続可能な木質資源の活用を追求していくことで、社会的・経済的な価値を創出し続けていきます。

持続可能な木質資源活用の追求によりカーボンニュートラルに貢献

実現のための3つの視点

- 1 適切に管理された木材の活用
- 2 森林を守るための木材の活用
- 3 余すことのない木材の活用

木材をマテリアルとして使い続けることで固定した炭素を貯蔵し続けることが可能に



成長期の森林は、成熟期に比べ、より多くのCO₂を吸収する働きがあります。森林の成長サイクルに合わせて適度に木を伐採し、新たに木を植えていくことで、森林が持つCO₂吸収機能を最大限に引き出すことが可能となります。

森林に蓄えることができる炭素量には限りがあります。木材をさまざまなマテリアルとして活用するシーンを広げることで、人々の生活空間を豊かにしながら、より多くの炭素を貯蔵することが可能となります。